

PRESS RELEASE

**虎ノ門エリアのデジタルツインデータを利用して、新しい都市体験を生み出す XR アプリ開発イベント
「TOKYO NODE “XR HACKATHON” supported by Niantic Spatial」開催決定**

～ 今年『XR/AI で創造する都市の文化』をテーマに、6 月 19 日（木）より参加者募集を開始～
様々な業界のプロフェッショナル 8 名が審査員に決定！



森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長：辻 慎吾)が運営する、虎ノ門ヒルズの情報発信拠点「TOKYO NODE(東京ノード)」の研究開発チーム「TOKYO NODE LAB」は、2025 年 7 月 11 日（金）から 10 月 23 日（木）の期間、虎ノ門デジタルツインデータを利用して、新しい都市体験を生み出す XR アプリケーション開発イベント「TOKYO NODE “XR HACKATHON” supported by Niantic Spatial」（以下、本イベント）を開催します。

「TOKYO NODE LAB」は 2023 年の開設以降、様々な分野の企業やクリエイターとの共創によって、テクノロジー、サービス、アート、エンターテインメントなどの既存の領域に捉われない「新しい都市体験」を創出するイベントやプロジェクトを多数推進してきました。本イベントは、「虎ノ門を XR の聖地に」をミッションに掲げ、国土交通省との共催で 2023 年に初開催。総勢約 100 名のクリエイターが集い、XR 技術による新しい都市体験のプロトタイプ（試作品）が多数提案されました。

第 2 回となる今回は、Geospatial Computing（地理空間コンピューティング）のトップランナーである Niantic Spatial の協力のもと、参加するアーティストやクリエイターが数か月に渡り、虎ノ門ヒルズを中心とした街を舞台に XR アプリケーション開発を行います。応募作品は、アート、ゲーム、物語体験、パフォーマンス、サービスなど様々な領域を越境するものが対象。開催期間中には、参加者向けの勉強会・交流イベント「Acceleration Events」や、選考を通過したクリエイターの作品を虎ノ門ヒルズの街なかに展示する「XR PARADE」などの各種イベントも開催します。最終審査会「Award Ceremony」では、様々な業界のプロフェッショナルを審査員に迎え、賞金や特集記事の掲載などの各賞を授与します。

TOKYO NODE は、引き続き、新たな都市体験およびコンテンツの創出を通じて、東京・日本から広く世界に発信するための価値創造システム（クリエイティブエコシステム）の構築を目指していきます。

お問い合わせ TOKYO NODE PR 事務局(サニーサイドアップ内)

E-Mail : tokyonode_pr@ssu.co.jp TEL:03-6894-3200

担当：小野緋和子（080-4652-1882）、鈴木紫苑

PRESS RELEASE

■ イベント概要

名称	: TOKYO NODE “XR HACKATHON” supported by Niantic Spatial		
テーマ	: XR/AI で創造する都市の文化		
日程	: 2025 年 6 月 19 日（木）－7 月 4 日（金）正午 参加者募集期間		
	7 月 11 日（金）	Kick-Off Party（オープニングイベント）	
	7 月 11 日（金）－9 月 12 日（金）	開発期間	
	9 月 12 日（金）	Final Pitch（一次審査）	
	10 月 17 日（金）－23 日（木）	XR PARADE（街なか展示）	
	10 月 23 日（木）	Award Ceremony（最終審査）	
会場	: TOKYO NODE LAB（虎ノ門ヒルズ ステーションタワー）および周辺エリア		
主催	: TOKYO NODE LAB		
企画制作	: 株式会社 SYMMETRY、TNXR		
協賛／協力	: Niantic Spatial ほか各社（以下に詳細記載）		
参加費	: 無料		
参加資格	: 年齢・国籍・所属不問。個人またはチーム（企業名での参加は不可）		
募集期間	: 2025 年 6 月 19 日（木）－7 月 4 日（金）正午		
応募方法	: 応募フォーム（ https://tnxr.notion.site/20fc4eb7560780b698aeefc625374c7c ）		
	よりエントリー ※募集多数の場合は抽選		
使用ツール	: デジタルツイン虎ノ門 SDK、Niantic SDK、Yamaha Music Connect API、Sound xR、Auris、XdiorM ほか		

■ 審査体制

一次審査	: 事務局によるプレゼンテーション審査
最終審査	: 審査員 + 来街者による体験審査 (XR PARADE 会期中)
審査基準	: ①新規性／革新性 ②技術性／意匠性 ③将来性／発展性

■ 審査員 (敬称略) ※6 月 19 日時点

朴正義 (株式会社バスキュール 代表取締役)
松島倫明 (『WIRED』 日本版 編集長)
重松象平 (建築家)
せきぐちあいみ (VR アーティスト)
きださおり (株式会社夕暮れ 代表取締役、株式会社 SCRAP 執行役員)
川田十夢 (AR 三兄弟 長男 / 開発者)
深津貴之 (サービス・デザイナー)
石橋素 (エンジニア/アーティスト)

PRESS RELEASE

■ 賞金・副賞

GOLD PRIZE 1 組 50 万円 + 特集記事掲載

SILVER PRIZE 1 組 20 万円

BRONZE PRIZE 1 組 10 万円

AUDIENCE PRIZE 1 組

審査員特別賞／協賛社特別賞（該当者がいる場合）

■ 協賛

プラチナスポンサー : Niantic Spatial

シルバースポンサー : ZIZO

テクニカルパートナー : imgee／Xdiorm／GATARI／Sound xR／STYLY／日本 XR センター／MESON
／Yamaha Music Connect API

メディアパートナー : Vook／J-WAVE／CGWORLD／Mogura VR

コミュニティパートナー : 会津大学 A-pxL／ASIBA／Iwaken Lab.／インスタ部／SVRC／XR Tokyo
／シナスタジア／東京大学 大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻
空間計画研究室／東京コンテンツインキュベーションセンター／NUMA
／NEORT／Beyond The Frame Festival／山口 XR コミュニティ／UTVirtual
／404 Not Found

※50 音順

■ 主催コメント

森ビル株式会社 新領域事業部 TOKYO NODE 運営室

XR/AI は単なる技術集積ではなく、都市に新たな“文化の火”を灯すビジョンそのもの。虎ノ門ヒルズを舞台に世界中の才能が交差し、まだ誰も見たことのない体験を生み出すことを期待しています。

PRESS RELEASE

【参考】

TOKYO NODE (東京ノード) とは

2023 年 10 月に開業した「虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」の最上部に位置する新たな情報発信拠点。イベントホール、ギャラリー、レストラン、ルーフトップガーデンなどが集積する、約 10,000 m²の複合発信施設です。施設内には、ミシュランで星を獲得したシェフによるレストランや、イノベーティブなプレイヤーが集まる共同研究開発チーム「TOKYO NODE LAB」の活動拠点も併設。NODE＝結節点という名のとおり、テクノロジー、アート、エンターテインメントなどあらゆる領域を超えて、最先端の体験コンテンツ、サービス、ビジネスを生み出し、世界に発信していく舞台となります。

TOKYO NODE LAB について

TOKYO NODE の 8 階に位置する、新たな都市体験を創出する企業やクリエイターとの共創拠点「TOKYO NODE LAB」。XR ライブ配信が可能なボリュメトリックビデオスタジオ「VOLUMETRIC VIDEO STUDIO」、TOKYO NODE のエントランスに位置し、イベントやミートアップなどの場としても活用されるカフェ＆バー「TOKYO NODE CAFE」が併設されています。業種や領域を超えた一流の才能や、イノベーティブな企業 17 社が集結しており、コラボレーションによって新たな都市体験やコンテンツを、虎ノ門ヒルズエリアを舞台に世界に向けて創出・発信していきます。



TOKYO NODE LAB 参画企業(2025 年 6 月時点)



VOLUMETRIC VIDEO STUDIO



TOKYO NODE CAFE

街や空間を使った体験を拡張するデジタルテクノロジー

TOKYO NODE LAB では、デジタルとリアルな融合する世界で新たな体験を創造することを目指して、様々な XR テクノロジーを研究しています。これらの成果を TOKYO NODE や虎ノ門ヒルズ、新虎通りなどの様々なユニークベニューに実装し、来街者に新たな都市体験を提供していきます。

また、これらの研究成果を、今後クリエイターやアーティスト、企業などに広く提供していく予定です。新たな都市体験やコンテンツを創出するプレイヤーが虎ノ門の街を実験の舞台とし、アートやエンターテインメント、サービスなどのコンテンツを実装することで、街全体が新たな体験やコミュニケーションのプラットフォームとなることを目指します。



TOKYO NODE LAB 詳細・これまでの取り組み等：<https://www.tokyonode.jp/lab/index.html>